

令和1年11月吉日

公益財団法人清和国际留学生奨学会
令和2年度私費外国人留学生対象の奨学生募集、並びに日本国籍を持ち、
東南アジアの大学に一年以上留学する奨学生の募集要項

1. 応募資格

- ① アジア・オセアニア諸国・地域の国籍を有するもので、わが国の大学において勉学、若しくは研究などを行っている大学学部生、または大学院生であること。並びに日本国籍を持ち、東南アジアの大学に一年以上留学する大学学部生、または大学院生であること。
- ② 応募時現在で、学部生は満30歳未満、院生は満35歳未満であること。
- ③ 日本政府(自治体を含む)など、または他の財団等からの奨学金をうけていないもので、学業、人物ともに優秀で且つ健康体であること。

2. 募集人員 12名(学部生、院生、東南アジアへの留学生 合計)

3. 奨学金 学部生 月額80,000円
院生 月額100,000円

(日本国籍 東南アジアへの留学生には、別紙 特例規程があります。)

4. 給付期間 令和2年4月から令和4年3月まで

(但し、この期間内であっても学生資格を失ったとき等はその時点以降支給しない)

5. 応募の手続き

別に定める応募申込書に、必要事項を記入の上、次の添付書類を添えて、在学大学の指定する日までに当該大学の学長(事務は当該大学留学生関係部課)宛に提出すること。

- ① 在学する大学、または大学院の在学証明書、または合格通知書および成績証明書(平成31年4月時点で大学院生になる場合で、日本国の大学の成績証明書が無い人は出身国で在学した大学の成績証明書で可)
- ② 在学する大学、若しくは大学院の指導教官の推薦理由書
- ③ 自己紹介レポート(日本語1800字程度、ワード作成、メール添付で送付)

6. 選考および決定

応募手続き書類に基づき、当財団の選考委員会において審査し、その審査結果の報告により、当財団理事会の議を経て当財団理事長が決定します。

審査選考の結果は、在学する大学学長を通して令和2年2月上旬までに通知します。

7. 奨学金の支給打ち切り等

(イ) 支給の打ち切り

- ① 申請書の記載事項に虚偽の記載が発見されたとき。
- ② 大学で懲戒処分を受けたとき。または日本の法律に違反することがあったとき。
- ③ 在学している大学を退学、または転学、若しくは、特別な理由なく留年したとき。
- ④ 日本政府(自治体を含む)または他の財団から奨学金の支給を受ける事となったとき。
- ⑤ その他 奨学生としての応募資格を失ったとき。

(ロ) 支給の停止

- ① 3ヶ月以上の休学、または欠席したとき。
但し、理由が消滅したときは復活することがある。
- ② 奨学生としての学業、または素行が不相当と認められたとき。
- ③ 奨学生として奨学金助成の必要性が無いと認められたとき。

8. 報告書等の提出など

- ① 奨学生は、奨学生の義務として毎年2回(3月と7月)に学習・生活にかかるレポートを、また11月に「近況報告」を当財団に提出しなければならない。
- ② 奨学生は財団から出向くよう求められたときは、特段の理由なくこれを拒んではならない。特段の理由あるときは、これを当財団に連絡し許可を得なければならない。

9. 問合せ先

公益財団法人清和国際留学生奨学会事務局 担当・近藤純代

Tel. 03-3847-4423 または 03-3843-7313

Eメール：seiwazai@newlong.com 及び s_kondo@newlong.com

以 上

令和1年11月

特例規程

日本国籍を持ち東南アジアの大学に一年以上留学する奨学生奨学金支給の特例方法

(1)

学部生 100万円(一年分)
院 生 120万円(一年分)

一年間分として、上記の金額を留学決定確認の上、一括して支払う。
二年目も継続して留学する場合同様に支払うものとする。
支給期間は二年間とする。
(この場合は月々の奨学金支給はありません。)

(2)

「奨学金支給規則」の通り毎月交付する方法と上記の方法との一つを選択する事とする。

公益財団法人 清和国际留学生奨学会

公益財団法人 清和国际留学生奨学会 趣意書

わが国は、いまや世界における経済大国として、その地位を確固たるものにしました。その結果、国民生活にかかる所得水準は一流先進国と比肩し得るまでになりました。

そのため、わが国に対する国際的期待はいよいよ高まり、わが国の役割は一層重要になってまいります。

しかしながら、このわが国の存立と繁栄は諸外国、とりわけアジア太平洋地域の諸国との平和的、安定的関係の維持を抜きにしては成り立ちません。

従って、経済のみならず、芸術、文化、教育などの分野におけるこれら諸外国との交流をもっともっと強めなければなりません。

最近ニュースなどで報道されるアジア各国からの私費留学生の激増、そしてわが国の物価高に対する彼らの生活の困難さなどには目を見張るものがありますが、これらの中には、学力優秀で勉学に燃える有為な学生を見ることが出来ます。

この有為な学生たちにわが国への失望を興さしめてはなりません。何故なら、それではこれら諸外国との友好親善を培うことにはならないからであります。

従いまして、これらの学生に援助の手を差し伸べ、そしてこれらの国の若者たちをして、将来自国の経済、文化などの各方面で当該国の発展に寄与していただき、このことによってわが国とこれら諸外国との国際親善、国際協調、惹いては世界平和に貢献できるものと確信し、ここに清和国际留学生奨学会を設立し、この目的に向かって前進しようというものであります。

平成2年1月18日

財団法人 清和国际留学生奨学会
理事長 近藤 清吉

追記：上記は財団設立時のものです。当財団は2011年（平成24年）4月1日、公益財団法人の認可を得て、新しく『公益財団法人清和国际留学生奨学会』と発足となりました。為念申し添えます。